

# 宮代町教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(平成27年度事務事業)

平成28年8月

宮代町教育委員会



# 目 次

はじめに	・・・	1
I. 平成27年度の宮代町教育行政重点施策	・・・	2
II. 評価方法について	・・・	2
III. 施策ごとの事務事業の点検・評価		
方針Ⅰ 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成		
基本目標1 確かな学力と自立する力の育成	・・・	3
基本目標2 健康で心豊かな児童生徒の育成	・・・	7
基本目標3 質の高い学校教育の推進	・・・	13
方針Ⅱ 町民の創意を生かした学びの場づくり		
基本目標4 家庭・地域の教育力の向上	・・・	17
基本目標5 生涯学習とスポーツの振興	・・・	19

## はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされています。

宮代町教育委員会では、同法の趣旨に基づき、「宮代町教育行政重点施策」に沿って教育行政の執行状況を自己点検し、今後の教育行政に生かすとともに、町民のみなさまに説明責任を果たすべく、平成27年度における教育委員会の事務に関する点検・評価を実施し報告書にまとめました。本報告書を通して、町民のみなさまに各事業がどのように展開されているのか、その執行状況を公表し、ご意見をいただき、よりよい宮代町の教育を充実、実現してまいりたいと考えております。

なお、この点検・評価を行うにあたりましては、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するとともにその客観性を確保する観点から、3名の外部評価委員からご意見をいただきました。今後とも教育行政の執行状況について点検・評価を実施し、効果的な教育行政を推進してまいります。

平成28年8月

宮代町教育委員会

## I. 平成27年度の宮代町教育行政重点施策

宮代町教育委員会は、「憧れを未来につなぎ、生きる力をはぐくむ宮代教育」を基本理念として、2つの基本方針の下、5つの基本目標に基づいて教育各分野の施策に取り組んできました。

基本目標	
方針Ⅰ 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成	
1. 確かな学力と自立する力の育成	
2. 健康で心豊かな児童生徒の育成	
3. 質の高い学校教育の推進	
方針Ⅱ 町民の創意を生かした学びの場づくり	
4. 家庭・地域の教育力の向上	
5. 生涯学習とスポーツの振興	

町民一人一人が、さまざまな社会環境の変化に対応し、人間と環境が調和した景観を創造していきながら、ゆとりと生きがいのある充実した生活を送るため、自ら学び、豊かな感性と創造性に富み、地域社会に貢献できる21世紀を担う心豊かな人間の育成が図られるよう、引き続き町民の期待に応える教育を推進してまいります。

## II. 評価方法について

### 1. 自己評価

教育委員会では、平成27年度に実施した各事務事業の実施結果を、「I. 宮代町教育行政重点施策」に掲げる各目標に照らした「達成度合い」を以下の4段階に分けて自己評価を行いました。

◎ 前進	○ 達成	△ 未達成	× 未実施
実施内容の向上・改善 新たな取組みの実施	教育重点施策に掲げる 目標を達成	予定・計画の水準未達 期限までに未完了	事業未実施

### 2. 外部評価

地方教育行政の組織及び運営に関する法律では、教育委員会の事務の点検評価にあたっては「教育に関し学識経験を有するものの知見を活用する（同法第27条）」とされています。平成27年度に実施した各事務事業の点検評価にあたっては、「1. 自己評価」に基づき、3名の方に点検評価を行っていただきました。

氏 名	分 野
小島 明身	学校教育（元小学校長）
中野 幸俊	保護者（宮代町PTA連絡協議会）
手 島 亙	生涯学習（宮代町体育協会）

【敬称略】

方針Ⅰ 未来を拓く、心豊かでたくましい児童生徒の育成

1 確かな学力と自立する力の育成

(1)「一人ひとりのよさや可能性を伸ばし、個性を生かす教育の充実」	所 管	自己評価
ア 教科指導の充実と指導方法の工夫・改善	学校教育	○
イ 学力学習状況調査等の結果の分析と活用	学校教育	○
ウ 少人数指導・習熟別指導によるきめ細やかな指導の充実	学校教育	○
エ 中学校区を中心とした特色ある小中一貫教育の推進	学校教育	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼各小中学校で授業研究を实践 27年度は笠原小、百間中学校で町委嘱研究発表会を開催</p> <p>▼英語教育強化地域拠点事業（文部科学省委嘱） 百間中学校区（東小、笠原小、百間中学校）における、小学校における英語の教科化の研究開発に取組</p> <p>▼宮代町教育委員会による委嘱研究推進（各小中学校） ▼宮代町教育課程検討委員会（12月） ▼宮代町教職員全体研修会の開催 教育課程伝達講習及び教科部会実施</p>	<p>・各学校が研究実践を重ね、指導方法の工夫、改善に努めており、徐々に成果が見られ教師の指導力も向上していると思います。</p> <p>・個人の力を学校の力に変えることが、組織全体の教師の力を高めていると考えますので、今後もより一層、指導方法の工夫・改善につとめていただきたいと思います。</p> <p>・小さいときから英語を学ぶことにより、将来に役立つと思いますので力を入れてください。</p> <p>・「学力向上」を合い言葉に各学校がさまざまな取組を行っています。自校の課題にむけた具体策がはっきりしています。今後も成果のあがった取組をぜひ共有、活用してほしいと思います。</p>
<p>▼学力向上等対策委員会を年間2回開催 調査結果から明確となった自校の課題や課題解決に向けた具体的な指導内容や指導方法についての情報交換と各校の取組内容、成果、課題等の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回学力向上対策委員会 期日：平成27年8月24日 内容：埼玉県学習状況調査の分析と今後の各小中学校の取組</li> <li>・第2回学力向上対策委員会 期日：平成27年12月11日 内容：全国学力学習状況調査の分析と各小中学校の取組</li> </ul>	<p>・個に寄り添い、きめ細やかな指導が行われることにより、満足感を得られる児童生徒が増えてきています。また、習熟度別学習では意欲をもって取り組んでいると感じます。実態把握につとめ、より一層、効果的な指導に（つとめて）力を注いでほしいと思います。</p>
<p>▼小学校 非常勤講師を8人配置し、個に応じた指導を実施 非常勤講師が担任と協力し、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習形態を柔軟に取り入れ、特に算数の授業において個に応じたきめ細かな指導が充実</p>	
<p>▼中学校 非常勤講師を6人配置し、少人数指導を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・非常勤講師と教科担任が協力し、チームティーチングや少人数指導、習熟度別学習指導等の学習形態を柔軟に取り入れ、個に応じたきめ細かな指導が充実</li> <li>・各校の実態に応じて、数学2名、保体2名、国語1名、特別支援学級1名を配置し、生徒の基礎学力の定着及び学力・体力の向上に成果</li> </ul>	
<p>▼小中一貫教育推進委員会（6月と3月に実施） 6月：各中学校区における本年度の年間計画及び具体的な取組について 3月：各中学校区における本年度の実践内容と次年度に向けた課題について</p> <p>▼交流活動、交流授業、出前授業、9カ年を見通したカリキュラム等、各中学区で学校の実態に即した特色ある教育活動を推進</p>	<p>・研究授業や交流活動等を通して、9年間の学習系統性や育てたい力について、共通理解が図られています。</p> <p>・小中学校の教員のつながりが深まり、率直な意見交換や情報交換ができました。今後も「なめらかな接続」ができるよう努めてください。</p>

(2) 伝統と文化を尊重し国際性を育む教育の推進		所 管	自己評価
ア 伝統と文化を尊重する教育の推進		学校教育	○
イ 外国語活動・英語教育の推進		学校教育	○

(3) 社会の変化に柔軟に対応する学校教育の推進		所 管	自己評価
ア 環境教育の推進		学校教育	○
イ 情報教育の推進		学校教育	○



実績・成果	点検評価委員意見
郷土の偉人「島村盛助」を顕彰する英語活動発表会	<p>・宮代町は、古来からの歴史や文化が脈々と受け継がれ、質の高い文化の中で多くの偉人をはぐくんできました。あまり知られていない偉人もいますので、これからも先人に学ぶ機会をつくってほしいと思います。</p>
<p>▼外国人英語指導助手（ALT）を配置（各中学校1名） 具体的な場面や状況にあった適切な表現を自ら考えた言語活動など、コミュニケーション能力の向上に寄与</p> <p>▼各小学校へALTを週に1日派遣</p> <p>▼各小学校へ日本人外国語活動補助員を配置（各校1名） 教員とALT、児童とのコミュニケーションの活発化に寄与</p> <p>▼外国語活動・英語教育研修会の開催</p> <p>▼英語教育強化地域拠点事業（百間中学校区）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中を貫く英語科カリキュラムの作成</li> <li>・小学校の英語教科化に向けた教材開発</li> </ul>	<p>・各校とも、熱心に取り組んでいる様子が窺えました。特に、百間中学校区での取組は確実に成果をあげ、他校にもよい影響を与えていると思います。今後もより一層英語教育の充実に向けて推進してください。</p> <p>・外国語、英語教育は児童、生徒が成長していく上で益々必要になると思われます。早い時期から言葉に触れる環境として、各取組や実績は、成果を現していると考えます。さらに、外国語を学ぶ中で、日本語の奥深さを感じられるような教育の推進ができれば素晴らしいことです。</p> <p>・教科書だけでなく、ALTと話すことによつて「聴覚」を養って欲しいと思います。</p>

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼環境教育実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育担当者会議の開催（5月13日） 各校の環境教育の取組、キッズエコライフの取組</li> <li>・宮代江戸の日（7月の第1土曜日：7月4日）の取組み 庁舎内に各小中学校の代表的な取組を掲示（30名）</li> <li>・キッズエコサミット（12月17日（木）実施） 各校の取組発表、キッズエコライフの取組に関するパネルディスカッション</li> </ul>	<p>・宮代町の環境教育は、キッズエコサミットなどユニークな取組で先進的です。これからもこのような教育を推進してほしいと思います。</p> <p>・毎日の小さな積み重ねが成果となって表れています。家族の協力も大きいと思います。これからも「エコライフ」に取り組んでください。</p> <p>・キッズエコサミットでは、各校の具体的な取組が紹介され、意識の向上につながっていると思います。年々、内容が工夫されてきました。</p> <p>・中々の取組ですが、熱中症にも配慮してください。</p>
<p>▼ICT（パソコン、大型テレビ等の情報通信技術）機器の効果的活用</p> <p>▼児童生徒、保護者、教職員を対象に情報モラル教育を実施（各小中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットトラブル防止を含め、情報モラル意識の向上に寄与</li> </ul>	<p>・情報機器を介した悪質ないじめ、学校だけでは困難な事案ケースも増えてきている。子供たちが巻き込まれることがないように、より一層モラル教育を推進してください。</p> <p>・スマートフォンが普及しているので、使い方など町も一体となって取り組んでほしいと思います。</p>

(4) 特別支援教育の推進		所 管	自己評価
ア 障がいのある児童生徒一人ひとりのニーズに応じた適正な就学支援の推進		学校教育	◎
イ 特別支援教育体制の確立と交流及び共同学習の推進		学校教育	○
ウ 特別支援教育サポーターの効果的活用		学校教育	○

## 2 健康で心豊かな児童生徒の育成

(1) 豊かな心を育む教育の推進		所 管	自己評価
ア 道徳教育の推進		学校教育	○
イ 豊かな心を育む体験活動の推進		学校教育	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼就学支援委員会を年に3回開催（H27.6、11、H28.1） 特別な配慮を要する児童生徒に対しての教育・医療・福祉等専門的分野からの適切な支援</p> <p>▼特別支援教育サポートチームによる各小・中学校訪問の実施（各校1回以上実施） ・児童生徒の観察と、専門的な立場から対象児童生徒の問題分析と効果的な指導法や対処法について学校へ提案 ・学校からの要請に応じて、ウイスクIV（発達検査）の実施</p> <p>▼笠原小学校に「自閉情緒学級」開設</p> <p>▼「難聴・言語通級指導教室」開設準備</p>	<p>・各学校では、保護者と連携を図りながら適正な就学支援を進めています。早い時期からのサポートチーム巡回訪問では、コーディネーターの先生から指導・助言をいただくことが出来、とても充実しています。</p> <p>・サポーターの配置により、支援の手が差しのべられるようになってきた。是非、効果的な活用を図ってください。</p> <p>・「ことばの遅れ」を指摘される児童は少ない。そんな中、教室が開設されることとなり本当によかったと思います。早い時期からの適切な指導を望みます。</p>
<p>▼交流活動（宮代特別支援学校、小中学校間）の実施</p> <p>▼支援籍の実施（笠原小、百間小）</p>	<p>・小学校就学前のお子さんに対しても早い時期から関係機関と連携を図り、就学に向けた保護者との相談を行っており、適正な就学につながっています。</p>
<p>▼特別支援教育サポーターを各小学校に1名配置 特別に配慮を要する児童に対しての適切な支援</p>	

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼郷土道徳資料（「島村盛助」「どんぐりピアノ」「山崎山」）の活用 ・身近な地域教材を活用した心の教育の推進 ・道徳教育に対する教員の意識や授業力の向上</p> <p>▼「宮代道徳の日（11月19日）」の設定 規範意識や生命を大切に作る心、他人を思いやる心等の豊かな心の育成に向けた学校における取組を地域へ発信</p> <p>▼年次研修における授業研究会の実施</p>	<p>・各学校では道徳の時間を要として道徳教育に力を入れています。また、地域や家庭の協力を得ることで児童生徒の豊かな心が育まれています。これからも豊かな心を育み、道徳的実践力を身に付けさせていってほしいと思います。</p> <p>・町独自の郷土道徳資料を活用したり、「道徳の日」を設定する等、地域に根ざした教育が図られています。</p> <p>・宮代町の偉大な先輩、島村盛助氏の人柄や業績、広範な人付き合いは今後も広く伝えていく必要があります。</p> <p>・どんぐりピアノのエピソードも含めて、中々伝え難い「誇りや誇らしいこと」を学ぶきっかけとなる可能性を強く秘めていると思います。</p>
<p>▼各小中学校での福祉体験学習（車椅子・点字・手話・アイマスク体験）</p> <p>▼学校ファームの推進</p> <p>▼職場体験学習（中学1・2年生） 事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通して、生徒の勤労観、職業観を育成</p>	

	ウ 読書活動の充実	学校教育	○
	エ キャリア教育・職業教育の推進	学校教育	○

(2) 総合的な不登校対策の推進		所 管	自己評価
	ア 教育相談体制の充実	学校教育	○
	イ いじめ・不登校防止の推進	学校教育	○

<p>▼朝の読書活動、学校図書ボランティア活用、学校図書の充実 小学校における「読み聞かせ」の実施</p>	<p>・朝の読書活動が定着してきています。特に、「読み聞かせ」の時間は子供たちがとても楽しみにしているようです。</p> <p>・人の声で語り、伝える「読み語り」は、長い時間を経て大きな思い出となり、心のどこかに浸透していると思います。</p> <p>・ボランティアの皆様のご協力をいただき、今後も続けてください。</p>
<p>▼ふれあい講演会を各中学校で開催 進路に対する生徒・保護者の意識の啓発</p> <p>▼職場体験学習を各中学校で実施 事業所などの職場で働き、また働く人と接することを通して、生徒の勤労観、職業観を育成</p>	<p>・社会から仕事に対する姿勢や人との接し方を学ぶことができる貴重な機会といえます。</p> <p>・職場体験は、様々な分野があるため重ならないように受入事業所の増加に努めてほしいと思います。</p>

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼町非常勤講師として不登校対策学習支援員を各中学校に1名配置</p> <p>▼全教職員が共通理解の下、一人ひとりの児童生徒に寄り添いながら教育活動を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全児童・生徒に対する不登校児童・生徒割合0.77% (平成26年度国平均1.21%、県平均0.95%) (H27不登校の児童・生徒 17人 ← H26 16人)</li> </ul>	<p>・宮代の不登校の率が全国や県の割合を下回っていることは、日頃の先生方の努力が成果をあげていると考えられます。</p> <p>・不登校傾向の子供は少なくありません。各校では保護者と密に連絡を取り合いながら、早期対応に努めています。不登校対策支援員、スクールカウンセラー、さわやか相談員の働きかけは大きいと思います。今後は、新たな不登校を生まない取組を行うことが不可欠かと思えます。</p>
<p>▼教育相談員(教育委員会事務局内 1人配置)</p> <p>▼教育相談員による学校訪問(毎月1回、各小中学校を訪問)</p> <p>▼さわやか相談員(中学校に1人ずつ配置)、ボランティア相談員(中学校に1人ずつ配置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さわやか相談室等で学び、教室への復帰支援</li> </ul> <p>▼スクールカウンセラー(県より2人、月に2日各中学校に配置) 専門的な見地からの保護者への支援や相談活動</p> <p>▼いじめ・不登校対策会議の実施(年間3回、各学期1回) 各校の課題や成果ある取組みについての共有化</p>	<p>・不登校の未然防止の取組としては、対人関係改善、学習面の改善なども挙げられます。「不登校ゼロ」を掲げ、引き続き取り組んでください。</p> <p>・いじめ、不登校への対応には地道で継続的な取組が不可欠で、当事者のご尽力に感謝するとともに、今後の粘り強い対応に期待します。</p> <p>・専門家との対策の共有や先生同士、先生と親などの連携を取りながら進めていくことが必要だと思えます。</p>

(3) 健康・安全教育の推進		所 管	自己評価
ア 交通安全教育の推進		学校教育	○
イ 防災教育の推進		学校教育	○
ウ 防犯教育の推進		学校教育	○
エ 体力向上を図る指導の充実		学校教育	○
オ 学校保健の充実		学校教育	○

(4) 学校教育における人権教育の推進		所 管	自己評価
ア 人権教育推進体制の充実		学校教育	○
イ 人権教育の指導内容、指導方法の工夫・改善		学校教育	○

実績・成果	点検評価委員意見
▼交通安全対策啓発用資料・防犯対策啓発資料「気をつけて」の作成、配布(全児童生徒へ配布) ▼交通安全教室開催(各小中学校) ▼交通安全啓発資料 ・交通安全ポスター・作文コンクール	・学校における安全教育は年々高まっていますが、道路へのとび出し、自転車による交通事故等は後をたちません。 ・今後も引き続き安全対策に努めてください。
▼避難訓練(各小中学校) 地震、火災、竜巻等を想定した避難訓練及び引渡し訓練の実施	・緊急地震速報を活用した防災訓練も行われています。より実際を想定した取組を行ってください。
▼防犯ブザーの配布(新入学児童213人) ▼不審者対応避難訓練の実施	・防犯ブザーの交換についても対応できると良いのではないのでしょうか。
▼宮代町立小・中学校児童生徒体力向上推進委員会(4回) ・体育部会 進んで体力づくりに取組める児童生徒の育成(前原中研究授業) ・保健部会 自らの健康を保持・増進できる児童生徒の育成(各校の健康教育の実践)  ▼全日本歯科コンクール優良校(百間中)  ▼平成27年度第62回埼玉県学校歯科保健コンクール 優秀校(百間中)、優良校(前原中)  ▼平成27年度埼玉県体力向上優良校(須賀中学校)	・児童生徒の体力低下がさげられる中、各学校ではさまざまな取組が行われています。各部会での課題が少しずつ良い方向に向っていると思います。  ・虫歯の治癒率が少しずつ向上しています。健康保持増進が「歯科コンクール」の良い成績につながっていると思います。これからも継続して取り組んでください。
▼学校保健委員会 ・各小・中学校における学校保健委員会の実施	

実績・成果	点検評価委員意見
▼各種研修会と宮代町人権教育推進協議会による活動 人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくりの推進が図られ、研修等を通して人権について考えるきっかけを提供し、人権を尊重する意識を高揚  ▼人権文集(あおぞら第21集)の発行 700部  ▼宮代町人権教育推進協議会による啓発研修会 3回・98人	・人権教育推進にむけて、さまざまな取組が行われています。今後もより一層、人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくりの推進が図られるようお願いします。  ・「人権意識」を育てる教育は、地道な啓発活動が必要です。各取組や実績は目的を達成していると思います。
▼教職員研修会開催(H27.8) テーマ「差別の現実から学ぶ」 130人  ▼子どもの人権講座(H27.12 小学6年生 239人)  ▼人権作文発表会(H27.12 小中学生 165人)  ▼宮代町いじめ防止基本方針 各小・中学校のいじめ防止学校基本方針に基づくいじめ防止の推進	・児童虐待は喫緊の課題です。学校では子供を虐待から守る取組がなされていますが、今後も早期発見、早期対応につとめ、とくに虐待を受けた児童生徒には適切なケアを行ってください。  ・いじめを早期発見して適切に解決に導いていける学校の指導体制ができてきました。  ・今後もより一層学校のみならず、保護者や地域社会、関係機関等が一体となって仕組づくりを推進していけるように努めてほしいと願います。

(5) 学校給食の充実と食育の推進		所 管	自己評価
ア 学校給食の充実		教育総務	○
イ 食育の充実		教育総務 学校教育	○

### 3. 質の高い学校教育の推進

(1) 創意を生かし、家庭・地域に開かれた特色ある学校づくりの推進		所 管	自己評価
ア 学校評議員の活用		学校教育	○
イ 学校教育情報の積極的な発信		学校教育	○
ウ 学校評価の充実		学校教育	○
エ 学校応援団の推進		学校教育	○
オ 家庭・地域と連携した学校の安全対策の推進		学校教育	○
カ 学校自由選択制の推進		学校教育	○



実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼多様な献立メニューの実施 「世界の料理(オリンピック)」、「各都道府県の郷土料理」、「季節の行事食」、「我が家の自慢料理」など、楽しく食べながら社会性や豊かな人間性を醸成</p> <p>▼地場産食材の活用 宮代産農作物 [36品目 / 使用量 米約23t、野菜等約10t]</p> <p>▼放射線対策 随時、町HPで公開中 ・使用食材の産地(予定・実績) ・使用食材の放射性物質の測定(毎週1回、3品目)</p>	<p>・食べることでできるコミュニティに注目したいと考えました。宮代町の学校給食への取組は素晴らしいと思います。</p>
<p>▼食育の推進 ・学年に応じたテーマによる栄養指導(小学1年生～中学2年生) ・給食だより(毎月)、食育だより(毎学期)による食育推進</p> <p>▼施設の定期保守・点検と改修・修繕 ・改修・修繕の実施</p> <p>▼食物アレルギー対応 対象児童・生徒に対する「除去食」「代替食」の提供</p>	

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼全小中学校に学校評議員を設置(各校5名) ・教育活動全般についての意見交換 ・提言や意見を活用した特色ある学校づくりの展開 ・次年度の学校課題や目標設定の参考として活用 ・地域での子供たちの様子等についての意見から具体的な対応を实践</p>	<p>・学校評議員からは貴重な提言や意見を頂き、より良い学校づくりに生かされています。</p> <p>・積極的な情報発信により学校の様子が手にとるようにわかります。結果、家庭地域の理解につながっています。</p>
<p>▼学校要覧、学校パンフレットの作成(全小中学校) ▼学校だよりの作成(全小中学校) 地域へも配布 ▼学校ホームページの更新 前原中、百間小ブログ</p>	<p>・学校応援団による活動は多岐にわたり、さまざまな協力をいただいています。今後も学校とよく打合せをし、バランスの良い活動を望みます。</p>
<p>▼学校関係者評価の実施 ▼保護者、地域への学校評価の公表 ・学校の課題の明確化と、次年度に向けての教育計画の更新</p>	<p>・ホームページで学校の様子が見られるのは良いと思いますが、写真掲載には十分注意してください。</p>
<p>▼学校応援団活動 図書ボランティア、環境整備、部活動・学習支援、スクールガード'他</p>	
<p>▼「こども110番の家」の設置(126軒、前年度より1件の減) ・抑止力として、不審者による重大な事件発生なし</p>	
<p>▼「スクールガード」(各小学校で組織、計323名) 「スクールガードリーダー」(各小学校に1名、県からの委嘱) ・下校時における不審者情報の減少 ・地域の防犯意識の高揚</p>	
<p>▼各小中学校における避難訓練(毎学期) ▼各小中学校において年に1回、薬物乱用防止教室を開催 ▼緊急時における対応マニュアルの見直し</p>	
<p>▼制度利用者(H27) 小学校32名 中学校11名</p>	

(2) 教職員の資質向上		所 管	自己評価
ア 人事評価制度の充実		学校教育	○
イ 教職員研修の充実		学校教育	○
ウ 教職員モラルの向上		学校教育	○

(3) 学習環境の整備・充実		所 管	自己評価
ア 学校施設・設備の整備		教育総務	○
イ 教材教具の整備と効果的な活用		学校教育	○
ウ 町立小中学校の適正配置		教育総務	○
エ 就学に対する支援		学校教育	○

実 績 ・ 成 果	点検評価委員意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間スケジュールに基づいた人事評価の充実 適切な人事評価実施のために研修会実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨今、教職員の不祥事が報道されています。意識の高揚、モラル向上に向けより一層取り組んでいただきたいと思います。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時的任用教員研修、町非常勤講師研修、年次研修の充実</li> <li>・各種研修会の実施</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理確立委員会及び服務研修会の実施(各校)</li> </ul>	

実 績 ・ 成 果	点検評価委員意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼学校施設環境の維持・改善 施設修繕・改修工事 安全かつ快適な教育環境の維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材教具の整備が進む中、より一層効果的な活用を図ってください。</li>   <li>・現在の各校の通学路の整備も必要ではないでしょうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼放射線対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気中の放射線量の定期測定(月1回)、公表</li> <li>・ホットスポット計測(2回)</li> </ul> </li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼授業の内容を深め、学力向上を図るため教材教具の設備充実 理科、算数・数学の教材教具 フットサルゴール、楽器(ユーフォニウム、チューバ)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼基本方針・計画の策定 H27.8「宮代町立小中学校の適正配置に関する方針」 H28.3「宮代町立小中学校適正配置計画」</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼地域住民への説明、意見交換 地域ワークショップ「学校をつくろう」により未来の学校像のまとめ  教育フォーラム2016(H28.1.30) 基調講演「人口減少社会の学校づくり」 文教大学 葉養正明教授 参加者との意見交換</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>▼就学援助費の支給 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校 就学援助費支給者は 1 6 0 名 (9,753,522円) 特別支援教育就学奨励費支給者は 1 2 名 ( 334,493円)</li> <li>・中学校 就学援助費支給者は 1 2 5 名 (13,060,620円) 特別支援教育就学奨励費支給者は 4 名 ( 102,619円)</li> </ul> </li> </ul>	

## 方針Ⅱ 町民の創意を生かした学びの場づくり

### 4. 家庭・地域の教育力の向上

(1) 家庭の教育力の向上		所 管	自己評価
ア 家庭教育学級活動の推進		生涯学習	○
イ 家庭教育への支援		教育総務	○

(2) 青少年健全育成の推進		所 管	自己評価
ア 青少年が健やかに成長できる環境づくりの推進		生涯学習	○
イ 青少年体験活動の推進		生涯学習	○
ウ 育成団体との連携・支援		生涯学習	○

実績・成果	点検評価委員意見
<b>▼家庭教育学級の開催</b> 小学校と連携し、就学時健康診断の時間を活用して親の学習会を開催 参加者数 須賀小学校(51人)、東小学校(62人)、笠原小学校(64人)	・塾など習い事も増えているなか、公衆電話も減少しているため携帯電話を持たせる家庭も増加しています。従って、使い方の教育は子供、保護者とも大切です。
<b>▼入学準備金補助制度</b> 利子補給 H27 6件 上限30,000円	

実績・成果	点検評価委員意見
<b>▼青少年非行防止活動(青少年育成推進員)</b> 街頭キャンペーン、コンビニエンスストア巡回、夜間パトロール実施など	・新しい「宮代郷土かるた」の制作が始まったと伺い大変期待しています。「かるた」を通じて住民同士の新しいつながり、文化が醸成されることを願います。
<b>▼子ども大学みやしろの開催 4日間 参加者数54人(H26 52人)</b> ・子供たちの知的好奇心に応える場として日本工業大学を中心として講座開設 ・学校の授業では経験できない知識や体験を通じて「学ぶ力」や「生きる力」を育成	
<b>▼みやしろ郷土かるた大会の開催</b> ・67チーム・201人(H26 66チーム・198人) ※団体戦(3人制)のみ ・郷土宮代の歴史、名所、文化などを学び郷土愛を育むため実施 ・競技を通じた仲間づくり、ルールを守ることなど健全育成につながる体験機会を提供	
<b>▼彩の国21世紀郷土かるた 宮代大会の開催</b> ・15組・40人(H26 22組・69人) ※個人戦、団体戦(4人制) ・郷土埼玉の歴史、名所、文化などを学び郷土愛を育むため実施 ・競技を通じた仲間づくり、ルールを守ることなど健全育成につながる体験機会を提供、上位チームは県大会に出場 ※町代表チームが県大会(3月12日開催)で団体戦にて初優勝(全120組出場)、個人戦ベスト16(同)	
<b>▼あそべんちゃーわーんど 参加者39人(H26 30人)</b> ・小学生を対象とした山崎山の自然を活かした各種体験事業を共栄大学との連携のもと開催	
<b>▼青少年育成団体との連携</b> ・青少年育成推進員による啓発活動、非行防止パトロール他の実施 ・子ども会育成連絡協議会のかかるた大会への協力(審判、読み手)	

5. 生涯学習とスポーツの振興

(1) 町民の創意を生かした生涯学習の推進	所 管	自己評価
ア 生涯学習機会の充実	生涯学習	○
イ 公民館活動の充実	生涯学習	○
ウ 図書館活動とサービスの充実	生涯学習	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p><b>▼市民参加により各事業を実施</b> 多くの町民の協力を得て町民スポーツ大会、町民文化祭、成人式、みやしろ大学、市民大学みやしろ、郷土かるた大会等を開催</p> <p><b>▼みやしろ大学の開催〔H27. 4～12〕（ ）内はH26</b> 登録279人(225人)アンケート満足度 82%(90%) ・受講生から運営委員(7人)を募り、自主的に企画・運営</p> <p><b>▼町民文化祭の開催(H27.10. 31～11. 3)（ ）内はH26</b> 発表 1,408人(1,524人) / 展示 1,828人(2,051人) 文化公演会(世界一の口笛コンサート)510人 ・日頃の生涯学習活動の成果を発表する場、制作者や発表者の励みとなり、鑑賞者が活動に参加するきっかけづくりを实践</p> <p><b>▼成人式の開催(H28.1. 10)（ ）内はH26</b> 出席者数 226人(240人) 出席率 65.1%(67.0%) ・新成人10人が実行委員となり、二十歳の思い出となる式を自分たちの力で実現</p> <p><b>▼市民大学みやしろ</b> ・たくみの村木工講座(H27. 4～H28. 3 計23回)4人 ・少年少女コーラス隊(H27. 10～H28. 3 計9回)41人 *町制施行60年記念ソング「雲の果てに」の練習及び披露 ・ビブリオバトルティーンズ編(H27.10. 25)12人 ・子どもDIY教室(H27.11. 28)10人 ・親子DIY教室(H28.3. 21)11人</p>	<p>・宮代町には大学、資料館、図書館等もあります。以前の町基本構想「水面に映える文化都市」にもありましたが、文化振興は積極的に進めて欲しいと思います。</p> <p>・昨今、ヴァーチャル(仮想的)な関係を容易につくれるいろいろな環境や機器が私たちを取り巻き、人と人が向き合うことやじっくり話し合うということができにくい環境にあると思われます。人の声のトーンや微妙な表情の変化、しぐさの全体として会話する、人と時間を共有する、といった最も基本的なことが置き去りにされてしまうと、それは人の本質に関係するととも残念なことです。このようなことを思うとき、あらたな「みやしろかるた」制作や、食育など、人々が集うことがイメージされる事業が本当に的を得た重要な取組として浮かび上がってきます。</p> <p>ぶつかり合ったり、煩わしいと思ったり、しかしうれしいことも多い人と人との関わり合いを何らかの形で伝えていくことは、難しいけれども大事なことだと感じています。</p> <p>・「ビブリオバトル」もおもしろい取組。目に見えないところでも様々な取組が行われていることが確認できました。</p>
<p><b>▼3館(和戸、百間、川端)体制により運営（ ）内はH26</b> 開館日数 309日 稼働率 44.8%(46.0%) 利用者数 53,908人(53,648人) 利用回数 4,995件(5,112件) ・「地域の身近な学習拠点」として、文化芸術から軽スポーツまで、様々な活動に利用 ・川端公民館駐車場の不陸整正工事の実施 ・救急救命講習会の実施(参加者川端21人、百間27人、和戸16人)</p>	<p>・町制施行60年記念ソング「雲の果てに」は、様々な機会をとらえて広めていってください。</p>
<p><b>▼指定管理者による管理運営</b> 指定管理者 (株) 図書館流通センター 指定期間 平成23年4月1日～平成28年3月31日</p> <p><b>▼蔵書数</b> 図書資料 254,433冊 (H26 253,490冊) うち一般書 195,777冊 (H26 195,461冊) うち児童書 58,656冊 (H26 58,029冊) 視聴覚資料 8,048点 (H26 8,527点)</p> <p><b>▼利用状況</b> 開館日数 288日 (H26 284日) 貸出者数 102,320人 (H26 104,162人) 貸出冊数 388,307冊 (H26 407,940冊)</p> <p><b>▼月例・季節行事等の参加者数</b> 延べ4,168人 (H26 4,337人)</p> <p><b>▼新規事業</b> らんどせるブック(小学1年生のブックスタート事業) 学校図書館システムの導入(図書管理のオンライン化) ハッピークリーン(書籍の自動消毒機)の導入ほか</p>	<p>・新規事業として新しい取組が行われました。「活字離れ」が懸念されている今日、本から様々な事柄を学べるよう、アイデアに期待します。</p>

	エ 文化芸術の振興	生涯学習	○
--	-----------	------	---

(2) 人権教育の推進		所 管	自己評価
	ア 地域社会や職域における人権教育の推進	生涯学習	○
	イ 人権啓発資料の充実	生涯学習	○
	ウ 人権教育指導者の育成	生涯学習	○

(3) 郷土の伝統文化の継承と新しい町民文化の創造		所 管	自己評価
	ア 文化財保護の推進	文化財保護	○
	イ 遺跡の保護と調査研究の推進	文化財保護	○
	ウ 文化財の活用と郷土学習の推進	文化財保護	○
	エ 資料館活動の充実	文化財保護	○



<p>▼特定分野総括助成金の交付 宮代町文化協会（425,000円） 市民団体との継続的な協働により、町の文化芸術の振興を図るため、宮代町文化協会に対し助成金を交付</p>	
--	--

実 績 ・ 成 果	点検評価委員意見
<p>▼各種研修会と宮代町人権教育推進協議会による活動 人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくりの推進を図るため、研修会等を通して人権について考える機会を提供</p>	<p>・人権教育推進にむけて、さまざまな取組が行われています。今後もより一層、人権意識の高揚と差別のない明るい地域社会づくりの推進を図ってください。</p> <p>・「人権意識」を育てる教育は、地道な啓発活動が必要です。各取組や実績は目的を達成していると思います。 〔P12再掲〕</p>
<p>▼人権文集(あおぞら第21集)の発行 700部(再掲) ▼埼玉人権啓発ライブラリー等を活用し、みやしろ大学県外研修時等に人権啓発DVDを視聴</p>	
<p>▼宮代町人権教育推進協議会による啓発研修会 3回・98人 ▼教職員研修会開催(H27.8.21) テーマ「差別の現実から学ぶ」 130人</p>	

実 績 ・ 成 果	点検評価委員意見
<p>文化財保護法に基づく、試掘調査、発掘調査、整理作業 ▼埋蔵文化財の所在の有無を確認する試掘調査 ▼埋蔵文化財の遺物整理 ・地蔵院遺跡等の整理作業を実施 ▼道仏土地区画整理事業に伴う道仏遺跡の整理作業 ・平成20、22～23、25～26、26年度道仏遺跡の発掘調査の整理作業を実施</p>	<p>・現在から未来を創造するだけでなく、「過去から現在を通して」未来を創造することも大切です。こうした創造の厚みを増す意味での、伝統文化の考察と継承の重要性を感じます。</p> <p>・郷土資料館や図書館の持つ役割は、利用率という可視的なものを超えて「みやしろらしさ」の種を育むものと考えられます。その意味で、取組や実績を高く評価したいと思います。</p>
<p>町内に残る貴重な文化財の保護と、文化財に対する調査 ▼文化財保護委員会の運営(委員8名)(3回開催) ・指定文化財候補について審議、調査 ・徳川家康画像、粟田口焼茶碗等の文化財の指定 ▼指定文化財保存事業補助 県指定文化財五社神社防災設備保守点検事業</p>	
<p>▼町内に残る貴重な文化財を保護するための啓発活動 文化財案内板の設置 道仏北遺跡</p>	
<p>▼開館実績 日数 278日 / 利用者総数 14,867人 「見て、聞いて、体験して」という基本的な考えのもと特別展や企画展、講座等を実施と資料の整理、保存 ▼普及、啓発事業の実施 ・資料館だよりの発行(年3回) ・郷土資料館のホームページを通じた、宮代町の歴史、文化財の紹介 ▼特別展・企画展の開催 「道中日記～江戸時代の旅」 2,614人 「埼玉・北埼玉の水塚」 2,644人 「宮代町60年のあゆみ」 4,481人 「地面の中をのぞいてみよう」 2,869人</p>	
<p>▼各種講座・体験学習教室の開催 夏休みを中心として各種講座を開催 「縄文土器づくり教室」 19人 「夏休みとっておき体験～郷土資料館へ行こう」 110人(延べ) 「移築民家と「アタラシイ」ゲキ12」 20人 「かやぶき民家で聞く昔話」 30人 ▼古文書・民俗資料の整理 ▼小学生への昔の暮らしや道具、遺跡や土器の説明等の学習支援</p>	

(4) 地域スポーツの振興	所 管	自己評価
ア 生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ振興	○
イ 誰でも気軽に参加できる健康・体づくり活動の推進	スポーツ振興	○
ウ スポーツ施設の運営と利用促進	スポーツ振興	○
エ 学校体育施設利用の促進	スポーツ振興	○
オ スポーツ指導者の養成と団体支援	スポーツ振興	○

実績・成果	点検評価委員意見
<p>▼第43回町民体育祭 参加チーム 20(47地区) 前年度20(43地区) ※雨天により中止となったが、前年度を上回る地区の申込みがあった。多くの地区では、練習や反省会等を実施しており、町民の健康増進、体力の向上、生きがいづくりなどの面で、大きな役割を果たすべく、他者との連帯感を生み出し、地域コミュニティの醸成にも寄与している。</p>	<p>・町民体育祭見直しへの取組の中で、町民が一堂に会する体育祭に求められる性格を鮮明にすることが重要と考えます。</p> <p>・多種多様なニーズに応える健康づくりのステージを用意する必要性を感じます。そのために、総合型スポーツクラブや各種連盟協会の連携協力が求められると思います。</p>
<p>▼町民スポーツ大会(9大会) 参加者総数 1,147人 ▼第32回宮代町綱引大会 参加者総数 320人 ▼第18回ファミリーハイキング(H27.10. 群馬県碓氷峠) 大人42人 ▼第41回年少者スキー教室(H28.1. 栃木県湯元スキー場) 小学4～6年生 雪不足のため中止(申込者246人)</p>	<p>・「スキー教室」が中止となりましたが、改めてその重要性が確認されました。小さいときに始めることは「きっかけ」づくりとなります。</p> <p>・町営各グラウンドの駐車場の拡張も含めた整備が望まれます。</p>
<p>▼総合運動公園 開館日数 303日／利用者総数211,238人 ・指定管理 第2期:平成25年4月1日～平成30年3月31日 ミズノグループ 管理業務や経理状況に関する報告(随時)定期打合(月1回)実施 ・大規模修繕、改修 プール棟散水ポンプ改修工事 ・自主事業の実施(参加者数延べ40,543人) スポーツ(テニス教室、水泳教室、バドミントン教室、新体操教室等) 健康(膝痛・腰痛体操教室)</p> <p>▼社会体育施設 開園日数 360日 / 利用者総数 75,686人 スポーツ活動や地域コミュニティ醸成のため活動などにも利用される身近な運動場の草刈や修繕など適切な管理を実施 ・グラウンド(前原、東、宮東、東条原) ・宮東テニスコート ・山崎アーチェリー場</p>	
<p>▼学校施設開放(夜間及び土日祝日の開放) 体育館(各小中学校) 集会室(笠原小学校) グラウンド(各小学校) 夜間照明(前原中学校) 校庭等利用 553件 12,903人 体育館等利用 1,687件 27,913人</p>	
<p>▼スポーツ推進委員活動(推進委員数11人) ・大人のスポーツフィールド(全10回・延べ68人) ・あそびと運動 トライ(全10回 延べ160人) *小学1・2年生対象 チャレンジ(全15回・延べ242人) *小学3・4年生対象 ・大人の体力テスト(H27.9 15人)</p> <p>▼広報誌発行 スポーツ推進委員だより(年1回)</p>	